

(別紙)

評価細目の第三者評価結果（保育所）

※すべての評価細目（48項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	Ⅰ-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・⑥・c
〈コメント〉ホームページ等で確認できるとともに職員へは、入職時研修で周知を図っている。今後は、パンフレットや入園のしおりにも法人理念、保育理念、保育方針、保育目標等が具体的にわかりやすく明示されることに期待したい。		

Ⅰ-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に対応している。		
2	Ⅰ-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・⑥・c
〈コメント〉社会福祉事業全体の動向については、いなべ市から情報を得ている。地域の待機児童数および出生率等の情報を収集し、受け入れ可能園児数を判断するなど、園の運営上重要な情報収集に努めている。外部の公認会計士と契約して経営分析も行われている。今後は、事業経営を取り巻く環境や経営状況の中・長期的な視点で把握・分析し、策定することに期待したい。		
3	Ⅰ-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a・⑥・c
〈コメント〉園長及び副園長は大きな課題が2つあると考えている。1つ目は人材確保、2つ目は3.4.5歳児の受入れによる入所率を上げること。経営課題である人材確保については職員と共有し、実習生やボランティアの受入れ等を積極的に行う等して、将来の人材育成及び確保に取り組むことが望まれる。		

Ⅰ-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
Ⅰ-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	Ⅰ-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・b・⑥
〈コメント〉園の中・長期事業計画は具体的に定められていない。事業経営における中・長期的な目標、将来目指すべき園の姿を具体化することに期待したい。		
5	Ⅰ-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・b・⑥
〈コメント〉事業計画はあるものの、中・長期事業計画を踏まえたものではない。中・長期事業計画策定後は、それに基づいた単年度の事業内容や施設整備等が具体化され、実施することに期待したい。		

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・b・c
〈コメント〉現状は前年度の対応・振り返りに基づいた単年度事業計画となっている。事業計画策定においては、多くの職員の参画が望まれるため、その仕組みづくりに期待したい。		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a・b・c
〈コメント〉入園説明会では、理念や保育指針、行事計画等の内容を伝えている。今後は、事業計画はじめ園の活動状況を伝える工夫や保護者とのコミュニケーションの強化による信頼関係のさらなる維持・向上に向けた取組に期待したい。		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・b・c
〈コメント〉園独自の自己評価表を策定している。職員が自己評価を行い、園長及び副園長、主任が確認しているが、さらなる取組として、その結果に基づきそれぞれの課題の明確化と保育の質の向上に向けた目標設定等が組織的に行われることに期待したい。また、今回が初めての第三者評価受審であるため、調査結果を職員全員で振り返り、今後の運営に活かされたい。		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・b・c
〈コメント〉今回の第三者評価結果に基づき、取り組むべき課題の明確化と、改善策に基づいた計画的な取組が望まれる。さらには毎年、第三者評価基準を参考にした園全体の自己評価を継続して実施されると良い。		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・b・c
〈コメント〉年度初めの職員会議で園長や副園長の役割について職員へ周知を図っている。今後は職務分担表の掲示や自らの役割と責任について、園の広報誌等に掲載するなどして、より周知を図られたい。		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・b・c
〈コメント〉園では法令遵守研修を実施しているが、さらなる取組として、必要な法令一覧の作成と、重要度に応じた研修及び勉強会等を実施するなどして、職員と確認・共有する機会を設け、理解に繋がる取組となることに期待したい。		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a・b・c
〈コメント〉園長及び副園長は常日頃から保育に意識を向け、必要に応じてサポートできるよう努めている。今後は、園全体で質の向上に向けて取り組めるような仕組みの整備・拡充に期待したい。		

13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a・b・c
〈コメント〉保育施設向けICTシステムを導入し、保育書類等の電子化等に取り組み始めている。今後は、園長や副園長のみならず、経営改善や効率化も含めて職員全体で事業運営を進めていく組織的な体制の確立に期待したい。		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
	Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・b・c
〈コメント〉園長及び副園長は、入職前の施設見学に積極的に取り組んでおり、対応は園長及び副園長、主任が行っている。しかし、園の人員体制に関する基本的な考え方や人材の確保と育成に関する方針が確立されておらず、具体的な計画も無い。計画作成およびその計画に基づいた人材確保・育成が望まれる。		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・b・c
〈コメント〉年1回の職員面談時の自己評価や面談内容を踏まえた人事考課が行われているが、理念や基本方針に基づいた「期待する職員像」は明確にされていない。今後は、職員が長く働き続けられること、職員自ら将来の姿が描けられるような仕組みづくりを職員とともに検討していくことを期待したい。		
	Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a・b・c
〈コメント〉年1回の職員面談のほか、希望に応じて面談を実施し、時短勤務や育児、介護休暇等が取得できるように配慮している。また、外部に職員の相談窓口が設置されており、働きやすい職場づくりに努めている。人材確保・定着の観点から、園の魅力をさらに高める取組や働きやすい職場づくりへの取組がさらに強化されることが望まれる。		
	Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・b・c
〈コメント〉園の「期待する職員像」の設定はなく、人事考課の一部で個人目標は設定しているが、目標項目や目標水準、目標期限等の設定および目標に対する進捗状況や達成度の確認が不十分と見られる。今後は、「期待する職員像」を明確にし上で、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みの構築が必要である。		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・b・c
〈コメント〉職員一人ひとりに必要な研修は、年1回の個人面談を踏まえ考慮している。今後は、研修に関する基本方針を定め、その中に期待する職員像を明示するほか、専門技術や専門資格を明記し、定期的な見直しが行われると良い。		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・b・c
〈コメント〉新人職員に対するOJTは、主任が担当している。今後は、階層別、職種別研修等、職員の実態に合った園内研修の実施もあると良い。		

Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・b・c
〈コメント〉実習生受入れマニュアルを整備し、積極的に実習生を受入れている。今後は、実習指導者への研修を行うなどして、実習のさらなる質の向上に繋がる取組に期待したい。		

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・b・c
〈コメント〉ホームページで保育理念・保育目標・保育方針を公開しており、財務諸表に関する情報は福祉医療機構（WAMNET）等で公開している。今後は、事業計画・事業報告、苦情・相談窓口や苦情等の内容にもとづく改善・対応の状況についてもホームページで公開することが望まれる。		
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・b・c
〈コメント〉事務や経理、取引については経理規程等でルールを明確にして運営を行っている。園の内部監査として、外部の公認会計士や社会保険労務士と契約をし、外部の専門家による定期的な経営状況確認が行われており、改善が図られている。		

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a・b・c
〈コメント〉日常的に近隣の公園等に散歩に出かけている。近隣に出かけた際には、挨拶をしたり、声を掛けられることが日常的に行われている。今後は、子どもの状況に配慮しつつ、地域の行事等に参加する機会を設けたり、地域住民の来園などにより交流が深まることに期待したい。		
24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・b・c
〈コメント〉ボランティアの受入れマニュアルを作成し、学生ボランティアや地域の老人会のボランティア等も受入れるようにしている。行政や社会福祉協議会等とも連携し、さらに積極的な受入れに期待したい。		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・b・c
〈コメント〉医療機関、児童相談所、小学校等の関連する社会資源を明確にし、確認すべき事案や共有すべき事案に関して、必要に応じて各関係機関との連携を図り、対応に努めている。		

Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a・⑥・c
〈コメント〉園長および副園長は、市役所の子育て支援課と定期的な会議で地域に関する情報収集を行っている。また、子育て相談会を開催し、地域のニーズの把握に努めている。今後は、子どもに限らず高齢者等の地域における福祉ニーズや生活課題について把握するための取組にも期待したい。		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・⑥・c
〈コメント〉地域貢献の一環として子育て相談や職員による神社の掃除等を実施している。今後は、子育てに限らず高齢者を含む地域の福祉ニーズに基づいた事業活動を事業計画等に明記しながら、地域コミュニティを広げる取組に期待したい。		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・⑥・c
〈コメント〉子ども主体の保育実践として、指示しない、命令しない、急かさないことを常に意識しながら取り組んでいる。園内研修や事例検討会、年齢別会議では、日頃の保育を振り返り、話し合う機会を設けている。チェックシートは毎年実施しているが、保育士のみになっており、また、それを基にした振り返りの機会が無いのは改善の余地がある。		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	a・⑥・c
〈コメント〉日頃からプライバシー保護に配慮しながら保育に努めている。オムツ交換は外部から見えない場所で行ったり、写真の使用については同意書による確認と複数職員によるチェックで適切な管理に努めている。一方、外遊びで汚れた際やプールの際の着替えについては、改善の余地がある。今後の改善に期待したい。		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a・⑥・c
〈コメント〉パンフレットを毎年見直しを行っている。見学の多い8～9月は12～13件/月予定があり、保育方針の説明が行われている。ホームページやSNSはあるものの、頻繁な発信は無い。保育内容が特徴的であることから、積極的な配信がなされるとさらに良い。		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	④・b・c
〈コメント〉入園にあたり、入園前の個別面談では園の保育方針や洗濯物が多いこと、食事について説明している。主任が基本担当だが、担任も説明できるようにしている。外国籍など配慮が必要な保護者の場合には、翻訳機を活用したり通訳を利用して丁寧な対応に努めている。変更時には手紙を配布したり、個別に対応するようにしている。		

32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a・㊦・c
〈コメント〉転園時には、児童票を持って行くよう市からの通達があったため、引継ぎ資料として保育記録を担任もしくは主任が持参し話をしている。その際には配慮していること（アレルギーの有無、発達について、保護者対応等）を伝えている。卒園時には、卒園後の連絡先について口頭では説明しているが、文書等は配布していないため、アルバム配布時に渡すなどされると良い。		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・b・㉠
〈コメント〉保護者役員会やクラス懇談会は行われているが、利用者満足向上の目的では行われていない。園への要望等があれば、職員会議で検討、改善を図り、園だよりで伝えたり内容に応じて個別に対応している。園では満足度調査の実施が行われていないため、年1回程度の実施があると良い。仕組みの整備による組織的な取組となることに期待したい。		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・㊦・c
〈コメント〉苦情解決体制が整備され、掲示物や配布により周知している。苦情自体はここ数年無いが、対応した際の記録からは適切な対応が確認できた。行事の際には、地域の苦情回避策として、事前に訪問して説明したり手紙を配布して理解を促している。今後は、苦情が無いことを公表することも必要である。		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	㉡・b・c
〈コメント〉保護者が相談を述べやすい環境として、主任と担任が家庭訪問を実施している。基本は年1回（5～6月）だが必要に応じて増やしている。家庭環境や保護者の状況がよりわかるため、話が聞きやすく保護者も話しやすい環境であると評価できる。		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・㊦・c
〈コメント〉保護者からは日々の送迎時や連絡帳、家庭訪問等で相談や意見を聞く機会が多い。その際は、担任から主任に報告、主任が対応、必要に応じて関係機関と連携、職員にフィードバックして共有する仕組みとなっている。対応マニュアルについては、フローチャート式で見える可すると良い。		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・㊦・c
〈コメント〉危機管理マニュアルの整備のほか、AED研修、SIDS（乳幼児突然死症候群）、てんかん等の研修により安全について意識を高めている。ケガは医務日誌で報告し、年齢別会議で話し合い、からだづくりの課題として検討している。今後の課題として、ヒヤリハットが3件と少ないため、ケガ・事故を未然に防ぐためにも「もしかしたら危ないかも・・・」が日頃から意識できる取組に期待したい。		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・㊦・c
〈コメント〉日頃から、手洗い・アルコール消毒・換気、職員はマスク・手袋等、感染予防に努めている。嘔吐物処理にの仕方については、職員会議で実践型の研修が行われている。保護者にはほけんだよりを配布し、家庭での感染予防を促している。体制強化のための、嘱託医等と連携した研修等が行われると良い。		

39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・㉔・c
〈コメント〉災害時のBCP（事業継続計画）を作成し、避難訓練が実施されている。年1回、消防士に避難訓練を見てもらったり消火器訓練を行っている。耐震化された建物で、ハザードマップ上は特にリスクが無い地域ではあるが、大雨の際は浸水したこともある。地域や自治会長とは連携を図っていききたい意向があり、園だけでなく地域全体で災害時に備えるための取組の強化が望まれる。		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な方法が確立している。	
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a・㉔・c
〈コメント〉標準的な実施方法として、デイリープログラム内に保育士の活動・配慮を作成している。しかし、内容としてはより園独自の取組に合わせより具体化されると良い。職員への共有方法として年齢別会議で発信したりデイリープログラムを配布し、年度初めに状況確認と見直しが行われているが、状況確認は定期的に行われると良い。		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・㉔・c
〈コメント〉デイリープログラムは毎年の年度初めに子どもの状況に合わせて見直しを行い、状況確認が行われている。見直したデイリープログラムは差し替えして各保育室に設置しているが、配布は新人職員のみのため変更時には職員全員に配布して説明するなど理解を促す取組に期待したい。		
	Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a・㉔・c
〈コメント〉入園時の個別面談や定められた書類を基に子どもの情報を把握している。指導計画は、給食職員や外部の関係機関からの情報も反映させながら、毎月の年齢別会議（月案会議）で策定、評価・見直しが行われている。非常勤職員への指導計画の周知については、不十分さが感じられる。		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a・㉔・c
〈コメント〉年齢別会議（月案会議）で指導計画の評価・見直しが行われている。非常勤職員の一部は参加しているが、参加できない場合は、口頭のほか会議議事録を回覧しているが、理解して実践しているかは曖昧である。パート職員会議等の実施により情報共有が図られ、指導計画を理解した保育実践に繋がることに期待したい。		
	Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a・㉔・c
〈コメント〉現状、子どもに関する保育の実施状況の記録は定められた書式を利用して記録している。保育のICT化は保護者との共有のみ行っており、記録に関しては今後活用を予定している。記録の書き方については主任が個別に指導している。園内の情報の流れは、基本は主任に集約され主任から園長・副園長に報告する流れとなっている。園長・副園長どちらに伝えるか悩む場面もあり改善の余地がある。		

45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a・b・c
〈コメント〉個人情報書類等は規程に基づき管理している。個人情報等の書類は鍵付きの書庫に保管し、保護者には個人情報の取扱いについて同意を得ている。個人情報の書かれた書類を回覧する場合には、取扱い注意と記載して回覧している。職員への研修については職員倫理の話として年度初めに行うことが望まれる。		

評価対象Ⅳ 三重県独自基準

Ⅳ-1 地域項目

		第三者評価結果
Ⅳ-1	地域に開かれた施設運営が適切に行われている。	
46	Ⅳ-1-① 子育て経験者との連携がとれている。	a・b・c
〈コメント〉以前は、農園の野菜の育て方を教えてもらうなどの交流が行われていたが、現在は行われていない。地域の子育て経験者の経験を活かした取組に繋がることに期待したい。		
47	Ⅳ-1-② 子どもの安全確保について地域との相互協力体制の構築を行っている。	a・b・c
〈コメント〉市役所からの不審者情報やさんぽ道の危険箇所について警察と連携するなどの取組は行われているが、地域住民との連携は、これから行っていきたい意向がある。地域住民との相互協力体制の構築が期待される。		
48	Ⅳ-1-③ 地域の環境保護に貢献している。	a・b・c
〈コメント〉さんぽ途中にゴミ拾いや神社の掃除など、地域の清掃活動に積極的に貢献している。園内では、牛乳の紙パックでイスを作ったり、保護者役員会が中心となり子ども服の交換会なども行われており、環境保護について園だけでなく保護者の意識も高い。		